

平成22年度 第1回みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会

- ◇ 平成22年7月6日（火） 19時から21時
- ◇ 美濃加茂市中央公民館 4階 404会議室

1 開会

2 市長挨拶

民間の活力を取り込んだ魅力あふれる圏域づくりである定住自立圏共生ビジョンの策定と推進に今回から川辺町の委員の方にもご参加いただけることとなりました。皆様のご提案やご意見をよろしくお願いたします。

これまで美濃加茂市と坂祝町との間で定住自立圏共生ビジョンの策定に向け、懇談会、ワーキンググループ会議を何度も重ね、今年5月に「みのかも定住自立圏共生ビジョン」を策定することができました。キャッチフレーズを「ここに住むしあわせ。HOTエリアみのかも。」としました。経済やまちづくりが活発で、熱く輝く地域であり、安心安全な“ほっと”できるまちを目指していきます。

現在、全国的な少子高齢化問題に加えて東京一極集中という流れの中、地方としてどう対応していくのが最大のテーマであると考えています。そのためにも「新しい公共」の考え方により、行政と民間企業等とが圏域の将来像を共有した上で役割分担をし、行政は行政としてやるべきことをしっかりと行い、また民間企業やNPO等の活力を持って地域の活性化や魅力の向上を図っていくことが、今地域に求められています。

民間の活力を取り込んだ魅力あふれる地域づくり、生活者の視点を大切にしたいと安心して定住できる地域づくりを目指していきたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 委員委嘱

- ※ 平成22年度 みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会（WG会議）委員名簿〔別紙〕のとおり

4 座長及び副座長の選任

- ※ 平成22年度 みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会（WG会議）委員名簿〔別紙〕のとおり

5 定住自立圏構想の概要について

- ※平成22年度 第1回みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会資料〔別添〕のとおり事務局から説明

6 美濃加茂市・川辺町の定住自立圏の形成に関する協定書（素案）について

- ※平成22年度 第1回みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会資料〔別添〕のとおり事務局から説明

7 みのかも定住自立圏共生ビジョン具体的取組の推進について

※平成22年度 第1回みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会資料〔別添〕
のとおり事務局から説明

8 意見交換等

- 7月20日までの短期間に事業計画書をつくることは無理。つくってもつくるだけになってしまい、実現性のないものとなる。進め方がいかにも行政的である。
- 人口・交流拡大WGは、短期、中期、長期と計画的に進めようと話し合いをしてきた。人口・交流拡大WGで事業計画書が作成できる事業はない。また、補助金がなくなったら事業ができなくなることを避けるため「エンジン」を検討してきた。そのエンジンについての説明が全くない。
- ⇒ 7月20日までに「平成22年度 定住自立圏構想連携項目検討シート」及び「みのかも定住自立圏共生ビジョン具体的取組に係る事業計画書」の作成をお願いしましたが撤回します。今後の進め方を再検討します。「エンジン」については具体的にどのようなものにしていくのか検討中である。【事務局】
- 昨年度のWGが今回懇談会として変わった理由は？
- ⇒ 昨年度は共生ビジョンを一から作り上げる必要があったため、WGメンバーの上位組織としてこの圏域の方向性を示す懇談会メンバーとした。今回は土台となる共生ビジョンが既に策定されていることから、その策定を行った実行部門である昨年度のWGメンバーの方が懇談会メンバーになっていただくことが最も効果的で合理的であると考え、選出させていただきました。【事務局】
- 1つ2つは事業計画書として提出できそうなものがある。
- 定住自立圏構想の意味がよくわからない。その中でいきなり「何々をつくれ」と言われても困る。
- 昨年度は「夢を語れ」と言われていた。今回は短期間で「計画書を出せ」は腑に落ちない。
- この「みのかも定住自立圏共生ビジョン」はどこを向いているのかさっぱりわからない。企業の持つビジョンとは全く違う。
- ⇒ 今後の進め方について再度検討します。【事務局】

■ 閉会